

## 令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年2月28日)

本財団は、「持続可能な未来のために 今できることを！」をスローガンとして、霞ヶ浦をはじめとした県内湖沼等の水質浄化を願い、その思いを次世代につなげる活動に対する支援、並びに人々が生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しむことができるよう普及振興を図り、明るく豊かな活力ある社会生活の実現に資する団体等の活動に対する支援の二つの公益目的事業を実施した。

### ●事業活動

#### 1. 公益目的1事業（霞ヶ浦をはじめ県内湖沼の水質浄化に資することを目的とする事業）

霞ヶ浦をはじめ県内湖沼の水質浄化、水質調査・研究、動植物の調査研究等自然環境の保全に資することを目的とする事業に対して支援を行った。

#### ○助成対象団体：小中学校、環境団体

区 分	助成金申請	助成金交付額
小学校	41校 8,200,000円	41校 8,200,000円 (1校あたり200,000円上限)
中学校	12校 3,600,000円	12校 3,600,000円 (1校あたり300,000円上限)
義務教育学校 (前期・後期課程)	3校 1,500,000円	3校 1,500,000円 (1校あたり500,000円上限)
団 体	16団体 8,190,000円	16団体 8,190,000円 (1団体あたり1,000,000円上限)
計	72団体 21,490,000円	72団体 21,490,000円

#### ○特別支援事業

区 分	助成金申請	助成金交付額
団 体	2団体 10,150,000円	2団体 10,150,000円

#### 2. 公益目的2事業（スポーツ団体の行うスポーツ振興事業）

人々が生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しむことができるよう普及振興を図り、人々の健全な心身の発達と、明るく豊かな活力ある社会生活の実現に寄与することを目的とする事業に対して支援を行った。

○助成対象団体：総合型地域スポーツクラブ

区 分	助成金申請	助成金交付額
団 体	29 団体 28,500,000 円	29 団体 28,500,000 円 (1 団体あたり 1,000,000 円上限)

○特別支援事業

区 分	助成金申請	助成金交付額
団 体	1 団体 5,000,000 円	1 団体 5,000,000 円

※ 事業年度の変更に伴い、今年度事業は4/1～2/28 となるため、上記の公益目的1、公益目的2事業のうち38,650,000円（公益1：10,150,000円、公益2：28,500,000円）は令和8年度に振り替えている。

3. 表彰事業

事業実績により功績のあった団体等に対して表彰を行うものであるが、今年度は、諸般の事情から表彰は行わなかった。

●法人管理

1. 理事会・評議員会の開催状況

会議名	開催日及び場所	議題（決議・承認等）
第105回理事会	令和7年5月14日 つくば市「ホテル日航つくば」	・業務執行報告 ・令和6年度事業報告、収支決算の承認 ・役員等の報酬及び費用に関する規程の制定外各種規程の制定、一部改正の承認 ・選考委員選出の承認 ・評議員の選任候補の推薦
令和7年度 定時評議員会	令和7年6月11日 つくば市「ホテル日航つくば」	・評議員の選任 ・令和6年度事業報告、収支決算の認定 ・役員等の報酬及び費用に関する規程等の承認
第1回選考委員会	令和7年8月19日 「書面決議」	・公益1事業（特別支援事業）助成金の交付申請の選考
第106回理事会	令和7年9月2日 「書面決議」	・公益1事業（特別支援事業）助成金の交付決定
第2回選考委員会	令和7年12月11日 水戸市「水戸京成ホテル」	・公益1事業・公益2事業の助成金交付申請の選考

第 107 回理事会	令和 7 年 12 月 12 日 「書面決議」	・公益 2 事業（特別支援事業）助成金の交付決定
第 108 回理事会	令和 8 年 1 月 28 日 つくば市「ホテル日航つくば」	・業務執行報告 ・定款の一部改正の承認 ・役員等の報酬及び費用に関する規程の一部改正の承認 ・関係規程の一部改正等の承認 ・指定正味財産使用目的変更の承認 ・令和 7 年度助成事業の交付決定 ・令和 7 年度第 2 次補正予算の承認 ・令和 8 年度事業計画及び令和 8 年度収支予算の承認
令和 7 年度 臨時評議員会	令和 8 年 1 月 28 日 つくば市「ホテル日航つくば」	・定款の一部改正の承認 ・役員等の報酬及び費用に関する規程の一部改正の承認 ・指定正味財産使用目的変更の承認

## 2. 業務執行状況

### (1) 執行体制

令和 7 年度は、6 月の任期満了に伴う評議員の選任を行い、いずれも再任された。  
また、職員 1 名増員し事務局 3 名体制で業務執行にあたった。

### (2) 業務状況

- ① 本財団の Web サイトにおいて、財団の概要、お知らせ等情報の掲載、支援事業（助成金）等の情報発信を行った。
- ② 令和 6 年度に導入した会計システム（財務会計）により経理事務の効率化と適正化を図った。

## 3. 財産の管理状況

本財団の事業活動を支える根幹である資金調達については、所有する有価証券の受取配当金及び国債等の受取利息を活用して公益目的事業及び法人管理事業を運営した。さらに、指定正味財産使用目的の変更により、法人運営の弾力化に努めた。

また、所有する固定資産については、適切な管理に努めた。